

安全データシート
(Safety Data Sheet)

1. 製品情報

製造者：株式会社ルプテック

住 所：静岡県浜松市北区都田町 9235-1

電話番号：053-428-7744

商品名：オイルシステム・クリーナー&コンディショナー

【Oil System Cleaner & Conditioner】(商品コード：61607、61609、61610、61616)

2. 組成・成分情報・危険有害性

成分(CAS Number)	有害物質	含有量 %	許容濃度(OSHA PEL/ACGI TLV)
鉱物基油(68476-34-6)	含まず	<60	勧告値なし
鉱物基油(64741-97-5)	含まず	<40	勧告値なし
ジチオリン酸亜鉛	含まず	1-5	勧告値なし

* GHS 分類基準に該当しない。

* OSHA・29CFR・1910.1000(z)および 29CFR・1910.1200 に記載されている有害物質は含んでおりません。

3. 物理的・化学的特性

沸点	>315°C	凝固点	-31.67
比重(@15.6°C)	0.86	蒸気圧(mm Hg)	N/A
蒸気密度	N/A	水への溶解性(%)	N/A
容積による蒸発%	N/A	蒸発性 (酢酸ブチル=1)	N/A
pH	N/A	pH(5%希釈)	N/A
外観	透明な茶色の液体	匂い	石油系の臭気あり
引火点	179°C		引火点限度 N/A

N/A：適応せず

4. 火災時の措置

消防法 1. 第四類 第三石油類 危険等級Ⅲ (非水溶性) 引火限度：N/A

消火剤 1. 初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火剤を用いる。

2. 霧状の強化液、泡、粉末又は炭酸ガス消火剤が有効である。

3. 大規模火災の際には、泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。

使ってはならない消火剤 1. 棒状の水を用いてはならない。火災を拡大し危険な場合がある。

火災時の特定危険有害性 1. 現在のところ有用な情報なし。

特定の消火方法

1. 火元への燃焼源を断つ。

2. 周囲の設備等に散水して冷却する。

消火を行う者の保護

1. 消火作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用する。

2. 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

5. 安定性及び反応性

安定性 1. 通常の条件では安定。

反応性 1. 強酸化剤との接触を避ける。

避けるべき条件 1. 高温火気、ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触しないよう注意する。

混触危険物質 1. 現在のところ有用な情報なし。

危険有害な分解生成物 1. 燃焼の際には一酸化炭素等が発生する可能性がある。

その他 1. 現在のところ有用な情報なし。

6. 健康上の危険性データ

過剰にさらされた場合の健康上への危険度・影響度

飲み込み：誤って飲み込んだ場合、人体に影響を及ぼすことがある。肺に入った場合は深刻な症状を引き起こすことがある。

皮膚：繰り返し長時間の接触は、皮膚への炎症や乾燥、かゆみをもたらすことがある。

眼：炎症、充血、斑点をもたらすことがある。

吸入：喉、鼻、呼吸器上部に炎症を起こすことがある。濃い濃度の蒸気を吸入するとめまいや吐き気、中枢神経系に影響を与えることがある。

影響度：NTP, IARC, OSHA での潜在性発ガン性物質としては分類されていない。

大量に飲み込んだ場合は腎臓に影響を与えることがある。

7. 救急および初期手当

飲み込み：無理に吐かせない。速やかに医師の手当てを受ける。

皮膚：水と石鹸で洗い、汚れた衣服を脱がせる。

眼：直ちに眼を最低15分間水で洗い流し、医師の診断をうける。

吸入：新鮮な場所に移し、医師の診断を受ける。

医師への注解：症状ならびに臨床医の検診に基づき処置を行う。体重1kgあたり2ml以上飲み込んだ場合は、医師の監督の下、吐き出させる。

8. 漏洩時の措置および廃棄上の注意

汚染箇所への立ち入りを制限する。着火源を速やかに取り除き、漏洩を止め、適正な吸収剤などで吸い取り、法令で定められた容器に回収し、下水道、河川などに流出しないようにする。廃液は環境汚染につながりますので、法令で定められた方法で処分すること。漏洩時に使用した機材は法令で定められた洗浄剤を用いて洗浄すること。

9. 取扱いおよび貯蔵上の注意

皮膚や眼への接触を避けて、法令で定められた基準に従い貯蔵すること。当該危険物の消火用材を準備しておくこと。着火源から遠ざけ、高温体や酸化性物質との接近を避けること。使用中の容器は密栓にしておくこと。長期間にわたる皮膚や眼への接触を避けること。蒸気を吸入しないこと。子どもの手の届かない所に保管すること。一度で使い切ること。

10. その他

通気・換気：十分な換気をすること。

呼吸器の保護：通常必要はないが、必要に応じてガスマスクをつける。

眼の保護：作業用ゴーグルをつける。

手の保護：耐化学薬品性手袋をつける。

その他の保護器具類：安全靴、洗面所。作業周辺に飲食物を置かないこと。作業終了後、飲食の際には必ず水と石鹸で手を洗うこと。

製品安全データシートは、危険有害の化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。取り扱う事業者は、これを参考にして、自らの責任において、個々の取り扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この製品安全データシートを使用されるように、お願いします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

連絡先：

株式会社ルブテック

静岡県浜松市北区都田町9235-1

Tel: 053-428-7744

2016 February

安全データシート
(Safety Data Sheet)

1. 製品情報

製造者：株式会社ルブテック
住 所：静岡県浜松市北区都田町 9235-1
電話番号：053-428-7744
商品名：プレミアム・オイル・トリートメント
【Premium Oil Treatment】

2. 組成・成分情報・危険有害性

成分(CAS Number)	有害物質	含有量 %	許容濃度(OSHA PEL/ACGI TLV)
鉱物基油	含まず	60-100	勧告値なし
硫化オレフィン	含まず	1-5	勧告値なし
リン酸エステル/アミン塩	含まず	0.1-1	勧告値なし

* GHS 分類基準に該当しない。

* OSHA・29CFR・1910.1000(z)および 29CFR・1910.1200 に記載されている有害物質は含んでおりません。

3. 物理的・化学的特性

沸点	220℃	凝固点	N/A
比重(@15.6℃)	N/A	蒸気圧(mm Hg)	N/A
蒸気密度	0.850	水への溶解性(%)	N/A
容積による蒸発%	N/A	蒸発性 (酢酸ブチル=1)	N/A
pH	N/A	pH(5%希釈)	N/A
外観	透明、赤褐色	匂い	N/A
引火点	>138℃		引火点限度 N/A

N/A：適応せず

4. 火災時の措置

- 消防法 1. 第四類 第三石油類 危険等級Ⅲ (非水溶性) 引火限度：N/A
- 消火剤 1. 初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火剤を用いる。
2. 霧状の強化液、泡、粉末又は炭酸ガス消火剤が有効である。
3. 大規模火災の際には、泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。
- 使ってはならない消火剤 1. 棒状の水を用いてはならない。火災を拡大し危険な場合がある。
- 火災時の特定危険有害性 1. 現在のところ有用な情報なし。
- 特定の消火方法 1. 火元への燃焼源を断つ。
2. 周囲の設備等に散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護 1. 消火作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用する。
2. 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

5. 安定性及び反応性

- 安定性 1. 通常の条件では安定。
- 反応性 1. 強酸化剤との接触を避ける。
- 避けるべき条件 1. 高温火気、ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触しないよう注意する。
- 混触危険物質 1. 現在のところ有用な情報なし。
- 危険有害な分解生成物 1. 燃焼の際には一酸化炭素等が発生する可能性がある。
- その他 1. 現在のところ有用な情報なし。

6. 健康上の危険性データ

過剰にさらされた場合の健康上への危険度・影響度

飲み込み：消化管の炎症を起こすことがある。気分が悪くなったり、吐き気や嘔吐を引き起こしたりすることがある。

皮膚：繰り返し、長時間の接触は、皮膚への炎症や乾燥をもたらすことがある。

眼：炎症、充血、斑点をもたらすことがある。

吸入：高温の蒸気を吸入した場合、呼吸器の炎症を引き起こすことがある。

影響度：NTP, IARC, OSHA での潜在性発ガン性物質としては分類されていない。

目や皮膚への繰り返し、長時間の接触は、炎症をもたらすことがある。また、皮膚への乾燥や斑点を引き起こすことがある。

7. 救急および初期手当て

飲み込み：無理に吐かせず、速やかに医師の手当てを受ける。

皮膚：水と石鹸で洗い、違和感が残る場合は医師の診断を受ける。

眼：直ちに眼を最低15分間水で洗い流し、医師の診断をうける。

吸入：空気の新鮮な場所に移す。

医師への注解：症状ならびに臨床医の検診に基づき処置を行う。

8. 漏洩時の措置および廃棄上の注意

着火源を速やかに取り除き、漏洩を止め、適正な吸収剤などで吸い取り、法令で定められた容器に回収し、下水道、河川などに流出しないようにする。廃液は環境汚染につながりますので、法令で定められた方法で処分すること。漏洩時に使用した機材は法令で定められた洗浄剤を用いて洗浄すること。

9. 取扱いおよび貯蔵上の注意

皮膚や眼への接触を避けて、法令で定められた基準に従い貯蔵すること。当該危険物の消火用材を準備しておくこと。着火源から遠ざけ、高温体や酸化性物質との接近を避けること。使用中の容器は密栓しておくこと。長期間にわたる皮膚や眼への接触を避けること。子どもの手の届かない所に保管すること。一度で使い切ること。

10. その他

通気・換気：十分な換気が行われていれば特に必要はない。

呼吸器の保護：通常必要はないが、必要に応じてガスマスクをつける。

眼の保護：作業用ゴーグルをつける。

手の保護：耐油性保護手袋、プラスチック製手袋をつける。

その他の保護器具類：安全靴、洗面所。作業周辺に飲食物を置かないこと。作業終了後、飲食の際には必ず水と石鹸で手を洗うこと。

製品安全データシートは、危険有害の化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。取り扱う事業者は、これを参考にして、自らの責任において、個々の取り扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この製品安全データシートを使用されるように、お願いします。従って本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

連絡先：

株式会社ルブテック

静岡県浜松市北区都田町9235-1

Tel: 053-428-7744

2020 February